



# 令和8年度横浜市トライアル助成金 交付対象事業（8事業）が決定しました

「横浜市トライアル助成金」は、健康・医療分野及びバイオテクノロジーを基盤とする環境・エネルギー分野において、新製品や新技術の事業化を目指す研究開発、アイデア等を具体化する試作品の開発などを支援する助成金です。

このたび、市内中小企業、スタートアップ、大学・研究機関等が取り組む8事業を交付対象事業として決定しました。今後、市内企業などとのマッチングや販路開拓といった支援を積極的に進め、オープンイノベーションの実現につなげます。

なお、本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が、横浜市中小企業・スタートアップ等支援事業補助金を受けて運営する事業です。

## 【交付対象事業】

### ■中小企業が取り組む事業（3事業・申請者五十音順）

1	事業名	細胞内タンパク質結晶化技術を利用した革新的バイオ触媒の開発		
	事業内容	環境負荷低減による持続可能なものづくりの実現を目的に、酵素の安定化・低コスト化を可能とする独自技術を活用した高機能酵素の実用化を目指す		
	申請者	合同会社Xtelligence Japan（緑区）	共同研究先	国立大学法人東京科学大学 生命理工学院 上野 隆史 教授
2	事業名	モリングによるゴムチップ代替品の研究開発		
	事業内容	マイクロプラスチックの拡散と夏季の温度上昇を防止する脱石油材料による人工芝用チップの製品化を目指す研究		
	申請者	竹田技術士事務所（中区）	共同研究先	国立大学法人埼玉大学 理工学研究科 藤野 毅 研究室
3	事業名	短波長赤外光（SWIR）センシングを用いファインチューニング・エッジAIを搭載したウェアラブル熱中症監視デバイスのセンサーコア部の開発		
	事業内容	個々に最適化された熱中症リスク監視の実現を目的に、短波長赤外光（SWIR）を用いたセンサーコアを開発する研究		
	申請者	MedVigilance 株式会社（中区）	共同研究先	-

裏面あり



■大学や研究機関等が取り組む事業（5事業・申請者五十音順）

1	事業名	マイクロ流体技術で合成した金ナノ粒子を用いた抗 GAD 抗体迅速検査薬の開発		
	事業内容	1 型糖尿病のバイオマーカーである抗 GAD 抗体の検出による早期診断および進行抑制の実現を目的に、マイクロ流体デバイスを用いた流体制御によりサイズの均一な金ナノ粒子を合成し、高感度な抗 GAD 抗体検査薬の開発を目指す		
	申請者	関東学院大学 理工学部 教授 柳生 裕聖 先生	共同研究先	-
2	事業名	右室ペースング患者におけるペースング誘発性心筋症スクリーニング支援システムの開発		
	事業内容	ペースング誘発性心筋症（PICM）の早期抽出を目的に、既存データを統合した院内スクリーニング支援システムの開発に向けた研究		
	申請者	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 循環器内科 医長 土井 駿一 先生	共同研究先	-
3	事業名	植物内在性細胞外小胞を利用した 非遺伝子組換え型・迅速・柔軟な植物機能改変基盤の創出		
	事業内容	CO <sub>2</sub> 固定能力の向上による地球温暖化の抑制と食料生産の安定化を目的に、細胞外小胞（EV）を活用した人工核酸デリバリー技術による植物機能制御基盤の創出を目指す		
	申請者	国立大学法人東京科学大学 生命理工学院 教授 山吉 麻子 先生	共同研究先	国立大学法人東京科学大学 生命理工学院 藤 泰子 准教授
4	事業名	オーキシシンを利用した省肥料技術の開発		
	事業内容	化学肥料使用量の削減と根の発達促進を目的に、植物ホルモン「オーキシシン」を活用した省肥料技術の開発を目指す研究		
	申請者	横浜市立大学木原生物学研究所 生命科学部門 教授 嶋田 幸久 先生	共同研究先	-
5	事業名	高齢者の転倒を予測するスマートシューズの開発とデータに基づく、転倒予防プログラムへの展開		
	事業内容	日常歩行データの継続的取得と生活内変化の把握による転倒リスクの早期検知を目的に、スマートシューズを活用した予防支援基盤の構築に向けた研究		
	申請者	公立大学法人横浜市立大学 医学部看護学科 助教 三浦 武 先生	共同研究先	lulu SPORTS CONDITIONING SALON 合同会社エコボット

次頁あり



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 令和8年度 横浜市トライアル助成金の概要

- 《対象者》 横浜市内に立地する中小企業、大学、研究機関、病院等
- 《対象事業》 健康・医療分野及びバイオテクノロジーを基盤とする環境・エネルギー分野（※1）の基礎研究成果や臨床ニーズ等の実用化につながる取組のうち、次のいずれかの事業（※1）GX、脱炭素、グリーンエネルギー、循環型社会の実現に資する分野等
- ・研究成果やアイデア等を具体化する部品・製品・ソフトウェアの開発や試作品の開発
  - ・研究アイデアに基づく予備試験又は仮説検証
- ※必要となるデータ等の取得およびその検証までが助成対象

《助成限度額》

中小企業	1 申請あたり 200 万円
大学、研究機関、病院	1 申請あたり 100 万円

《助成率》 対象経費の 10/10

《事業実施（助成対象）期間》 交付決定日から令和9年2月28日（日）まで

### 【参考】

※令和8年度横浜市トライアル助成金の申請募集に関する詳細は、募集時の記者発表資料（令和8年3月26日発表）をご覧ください。

URL：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2025/0326trial.html>



※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しています。

### お問合せ先

(オープンイノベーションに関すること)	横浜市経済局イノベーション推進課担当課長	大橋	TEL：045-671-3913
(助成事業に関すること)	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長	宮田	TEL：045-502-4810



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

